



Sitecore Online Marketing Suite 1

アナリティクス構成リファレンス

開発者と管理者用のためコンセプト概要

目次

Chapter 1	イントロダクション	4
Chapter 2	Sitecore アナリティクスの概要	5
2.1	アナリティクスの機能と概念	6
2.1.1	ページ要求の追跡	6
2.1.2	アナリティクス セッション	6
	グローバル アナリティクス セッション	7
2.1.3	アナリティクス タグ	7
2.1.4	アナリティクス プロファイル	7
2.1.5	アナリティクス ページ イベント	8
	目標と不成功	8
	キャンペーン イベント	8
	アナリティクス ページ イベントの登録方法	9
	URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法	9
	クエリ文字列パラメーターをイベントにマッピングする方法	9
2.1.6	キャンペーン	10
	キャンペーンの登録方法	10
2.1.7	リバーズ DNS ルックアップ	10
2.1.8	GeoIP ルックアップ	10
2.1.9	自動ロボット検出	11
2.1.10	アナリティクスの電子メール配信	11
2.2	多変数テスト	13
2.2.1	多変数テスト定義と多変数テスト変数	13
	多変数テストの作成方法	13
	多変数テスト変数の多変数テストへの追加方法	13
	多変数テストの実装方法	14
2.2.2	多変数テスト手段	14
	多変数テスト手段の実装方法	14
2.3	アナリティクスのアーキテクチャ	16
2.3.1	アナリティクス ページ イベント キュー	16
Chapter 3	Sitecore アナリティクスの設定	17
3.1	アナリティクス データベース	18
3.2	アナリティクス クライアント ロール	19
3.3	アナリティクスの設定	20
3.3.1	Analytics.AutoDetectBots 設定	20
3.3.2	Analytics.CampaignQueryStringKey 設定	20

3.3.3	Analytics.EMailFromAddress 設定	20
3.3.4	Analytics.Enabled 設定	20
3.3.5	Analytics.EventQueryStringKey 設定	21
3.3.6	Analytics.LogLevel 設定	21
3.3.7	Analytics.LongRunningRequest 設定	21
3.3.8	Analytics.MaxQueueSize 設定	21
3.3.9	Analytics.PerformLookup 設定	21
3.3.10	Analytics.PerformLookup.Interval 設定	22
3.3.11	Analytics.PerformLookup.MachineName 設定	22
3.3.12	Analytics.ReverseDnsLookupTimeout 設定	22
3.4	アナリティクス プロバイダー	23
3.5	GeoIP ルックアップ プロバイダー	24
3.5.1	GeoIP ルックアップ プロバイダーの実装方法	24
3.5.2	MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定	24
	MaxMind.Encoding 設定	25
	MaxMind.Format 設定	25
	MaxMind.SecurityToken 設定	25
	MaxMind.Url 設定	25
3.6	サイト定義 enableAnalytics 属性	26
Chapter 4	Sitecore アナリティクス API	27
4.1	アナリティクス API の概要	28
4.1.1	Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent	28
4.1.2	Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker	28
4.1.3	Sitecore.Analytics.AnalyticsPage	28
	アナリティクス ページのイベント、目標、不成功に関するレポート方法	28
4.1.4	Sitecore.Analytics.AnalyticsPage 拡張クラス	30
	検索アクションを前のページに関連付ける方法	30
4.1.5	VisitorIdentification Web コントロール	31
4.1.6	Sitecore.Analytics.AnalyticsGlobalSession.Tags	31
Chapter 5	アナリティクスのトラブルシューティング	32
5.1	OMS のトラブルシューティングの概要	33
5.1.1	Sitecore ログ	33
5.1.2	アナリティクス コントロール パネル	33

Chapter 1

イントロダクション

この文書では、Sitecore Online Marketing Suite (OMS。「アナリティクス」とも言います) の設定と使用方法について説明します。Sitecore 管理者と開発者は、OMS を実装する前にこの文書をよくお読みください。

この文書では、OMS アーキテクチャの概要、OMS 設定の詳細、よく使用するアナリティクス Application Programming Interface に関するアドバイス、および OMS のトラブルシューティング手順について説明します。

この文書には次の章があります:

- Chapter 1 – イントロダクション
- Chapter 2 – Sitecore アナリティクスの概要
- Chapter 3 – Sitecore アナリティクスの設定
- Chapter 4 – Sitecore アナリティクス API
- Chapter 5 – アナリティクスのトラブルシューティング

Chapter 2

Sitecore アナリティクスの概要

この章では、アナリティクスの概要と機能を紹介し、続いて Sitecore アナリティクス エンジンのアーキテクチャについて説明します。

この章には次のセクションがあります：

- アナリティクスの機能と概念
- 多変量テスト
- アナリティクスのアーキテクチャ

2.1 アナリティクスの機能と概念

このセクションでは、Sitecore アナリティクスの概念と、それに対応する機能の実装手順について説明します。

重要

この文書における `web.config` の記載は、システム上にある `/App_config/include/Sitecore.Analytics.config` のエントリに対応する場合があります。`web.config` にエントリが存在しない場合には、`/App_config/include/Sitecore.Analytics.config` で対応するエントリを探してください。

2.1.1 ページ要求の追跡

アナリティクス エンジンとは、すべてのページ要求を自動追跡しますが、特定の要求の追跡を取り消すことができます。アナリティクスのほとんどの処理には、Web クライアントがアクセスするときの一連の要求が伴います。Sitecore では、各ページ要求がデータベースの 1 つのアイテムに相当します。したがって、アナリティクスの各処理が Sitecore アイテムに関連付けられます。これをページとも言います。

2.1.2 アナリティクス セッション

アナリティクス セッションとは、ページに関連付けられたイベントを含めて、1 回のブラウザー セッションで 1 つの Web クライアントから送信される一連の HTTP 要求のことです。

単一ユーザーからの一連の HTTP 要求を識別するために、Sitecore はアナリティクス セッションの Cookie を Web クライアントに送信します。アナリティクス セッションの Cookie の名前は `SC_ANALYTICS_SESSION_COOKIE` です。最初のカンマ文字 (",") より前のアナリティクス セッション Cookie の値が `Session` テーブルの `SessionID` 列の値に一致して、アナリティクス データベースのアナリティクス セッション レコードが識別されます。セッションの Cookie は、ユーザーが Web クライアントを閉じると期限が切れます。

アナリティクス セッションは、ブラウザー セッションを表します。アナリティクス セッションは、常にではありませんが、多くの場合 ASP.NET セッションに対応し、複数の ASP.NET セッションにわたる場合もあります。たとえば、ASP.NET では `web.config` ファイルの `/configuration/system.web/sessionState` エLEMENT の `timeout` 属性によって指定された分数が過ぎると ASP.NET セッションが終了します。Web クライアントからの最初の要求で、ASP.NET セッションに対応するアナリティクス セッションが作成されます。ASP.NET セッションが次の要求より前に期限切れになった場合、ASP.NET では新しいセッションが作成されますが、Sitecore では新しいアナリティクス セッションは作成されません。1 つのアナリティクス セッションが、ASP.NET のセッション中およびセッション間のユーザーのアクティビティを表します。

グローバル アナリティクス セッション

グローバル セッションは、1 つの Web クライアントからの、複数の個々のアナリティクス セッションです。

単一ユーザーからの反復アクセスを識別するために、Sitecore は永続セッションの Cookie を Web クライアントに送信します。永続セッションの Cookie の名前は `SC_ANALYTICS_GLOBAL_COOKIE` です。永続セッションの Cookie の値が `GlobalSession` テーブルの `CookieValue` 列の値に一致して、アナリティクス データベースのグローバル セッション レコードが識別されます。永続セッションの Cookie は、Web クライアントによってソリューションから最後のページが要求されてから 1 年後に期限が切れます。

2.1.3 アナリティクス タグ

アナリティクス タグを使用すると、グローバル セッションに関するアナリティクス属性をストアできます。それぞれの属性が、グローバル セッションによって識別される個別のサイト訪問者を表します。グローバル セッションの詳細については、「グローバル アナリティクス セッション」のセクションを参照してください。

重要

アナリティクス タグは、セキュリティ プロファイルおよびアナリティクス プロファイルとは異なります。¹ アナリティクス タグは、ユーザーまたは個々のセッションではなく、個々の Web クライアントのグローバル セッションに適用されます。アナリティクス プロファイルの詳細については、「アナリティクス プロファイル」のセクションを参照してください。

メモ

アナリティクス タグの値は、個々の Web クライアントのグローバル セッションに適用されます。同じユーザーが 2 種類のユーザー エージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、アナリティクス エンジンでは別々のタグ値で 2 つのセッションを記録します。

2.1.4 アナリティクス プロファイル

アナリティクス プロファイルには、各アナリティクス セッションから収集された情報が含まれます。アナリティクス プロファイル値をコンテンツ アイテムに割り当てると、ユーザーがそのコンテンツにアクセスしたとき、そのユーザーのアナリティクス プロファイルを自動的に更新することができます。セッションの詳細については、「アナリティクス セッション」のセクションを参照してください。

重要

アナリティクス プロファイルは、セキュリティ プロファイルおよびアナリティクス タグとは異なります。² アナリティクス プロファイルは、ユーザーやグローバル セッションではなく、個々の Web クライアントの個々のセッションに適用されます。アナリティクス タグの詳細については、「Sitecore.Analytics.AnalyticsGlobalSession.Tags」のセクションを参照してください。

¹ ユーザー プロファイルの詳細については、

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20Reference.aspx> から『セキュリティ リファレンス』を参照してください。

メモ

アナリティクス プロファイルの値は、個々の Web クライアントの個々のセッションに適用されます。同じユーザーが 2 種類のユーザー エージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、アナリティクス エン진은別々のプロファイル値で 2 つのセッションを記録します。

2.1.5 アナリティクス ページ イベント

Sitecore アナリティクス エンジンでは、ゼロ以上のイベントを各ページ要求に関連付けます。デフォルトでは、各ページ要求は Page Visited イベントを発生させます。ASP.NET のポストバック テクノロジーの代わりに AJAX を使用するアンケートで、ユーザーがフォームをクリアしたり投票を送信したりするなど、ユーザーのアクションによってイベントが発生するように設定することができます。タイマーが設定時間に達したり、ビデオが末尾まで再生されたりするなど、システム操作でイベントを生成することも可能です。

目標と不成功

ユーザーがリソースにアクセスする、あるいはフォームをすべて記入する、というように Web サイト所有者の特定の目標を表すイベントを指定できます。逆に、ユーザーが検索結果リストのリンクをどれもクリックしない、などの不成功を表すイベントも指定できます。特定タイプの目標や不成功を登録するには、「アナリティクス ページ イベントの登録方法」のセクションで説明されているように、System/Analytics/Goal データ テンプレートを使用します。

キャンペーン イベント

イベントは、特定のキャンペーンに関連付けることができます。キャンペーン イベントを登録するには、キャンペーン定義アイテムの下で、System/Analytics/Campaign Event データ テンプレートを使用してキャンペーン イベント定義アイテムを挿入します。キャンペーン イベントを起動するには、キャンペーン イベント定義アイテムの Data セクションの Campaign Link フィールドで sc_camp クエリ文字列パラメーターの値を使用します。キャンペーンの詳細については、「キャンペーン」のセクションを参照してください。sc_camp クエリ文字列パラメーターの名前を変更する場合は、「Analytics.CampaignQueryStringKey 設定」のセクションを参照してください。

² ユーザー プロファイルの詳細については、

<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20Reference.aspx> から『セキュリティ リファレンス』を参照してください。

アナリティクス ページ イベントの登録方法

イベントを登録する方法:

1. **コンテンツ エディター**で `/Sitecore/System/Settings/Analytics/Page Events` アイテムを選択します。
2. **コンテンツ エディター**で、イベントの種類タイプに応じて `System/Analytics/Page Event` データ テンプレート、`System/Analytics/Campaign Event` データ テンプレート、`System/Analytics/Goal` データ テンプレート のいずれかを使用してイベント定義アイテムを挿入します。

メモ

コードと設定は、イベント定義アイテムを名前で参照します。

ヒント

コンポーネント内のイベントを特定するには、`Video Starts` や `Video Concludes` のようにパターンを使用します。

3. **コンテンツ エディター**で、イベント定義アイテムの **[データ]** セクションにイベント パラメーターを入力します。

API を使用してイベントを起動する方法は、「アナリティクス ページのイベント、目標、不成功に関するレポート方法」のセクションを参照してください。URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントを起動する場合は、「URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法」のセクションを参照してください。

重要

イベントは、どのように使用する場合でもその前に登録する必要があります。

URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法

イベント、目標、または不成功の名前に `sc_trk` URL クエリ文字列パラメーターを設定できます。このパラメーターの名前の設定については、「Analytics.EventQueryStringKey 設定」のセクションを参照してください。

クエリ文字列パラメーターをイベントにマッピングする方法

任意のクエリ文字列パラメーターがイベントをトリガーするように設定する方法:

1. `web.config` で、`type` 属性の値が `Sitecore.Analytics.Pipelines.StartTracking.ProcessQueryString, Sitecore.Analytics` である `/configuration/sitecore/pipelines/startTracking/processor` エLEMENT内に `<trigger>` エLEMENTを追加します。
2. `<trigger>` エLEMENTで、クエリ文字列パラメーターの名前に `querystring` 属性を設定します。

3. `<trigger>` エLEMENTで、トリガーするイベントの名前に `eventname` 属性を設定します。

指定されたクエリ文字列パラメーターが URL に含まれている場合、指定されたイベントをアナリティクス エンジンが記録します。

メモ

OMS のデフォルト設定では、`sc_rss` という名前の URL クエリ文字列パラメーターが、RSS という名前のイベントにマッピングされます。

2.1.6 キャンペーン

キャンペーンとは、1 つまたは複数のメディア チャンネルを通じて製品やサービス、その他の提供物に対する関心を促進しようとするマーケティング手法です。各セッションは、1 つまたは複数のキャンペーンに関連付けることができます。OMS ユーザーは、キャンペーンでアナリティクス データをフィルターできます。

キャンペーンの登録方法

キャンペーンを作成する方法:

1. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**で `/Sitecore/System/Marketing Center/Campaigns` アイテムを選択します。
2. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**で、`/Sitecore/System/Marketing Center/Campaigns` アイテムを選択し、`System/Analytics/Campaign` データ テンプレートを 사용하여キャンペーン定義アイテムを挿入します。
3. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**で、キャンペーン定義アイテムの **[データ]** セクションにキャンペーン パラメーターを入力します。

2.1.7 リバース DNS ルックアップ

リバース DNS ルックアップを使用すると、IP アドレスの所有者に関する情報を得ることができます。

2.1.8 GeoIP ルックアップ

GeoIP ルックアップを使用すると、IP アドレスの所有者に関してリバース DNS ルックアップより詳細な情報を得ることができます。レポートに GeoIP 情報を含めるために、アナリティクス エンジンはルックアップを実行する外部サービスを使用します。

メモ

GeoIP ルックアップ サービスを利用する場合は、MaxMind などのサードパーティーにお問い合わせください。³ MaxMind の詳細については、「MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定」のセクションを参照してください。

2.1.9 自動ロボット検出

Sitecore アナリティクス エンジンには、検索エンジンのようなロボットを自動的に検出し、そのセッションを実際のユーザーのセッションとは別に分類することができます。必要な場合には、CMS ユーザーがロボット セッションをライブ セッションとして再分類することも可能です。

Sitecore は、多くの基準を使用してロボットの識別を試みます。ロボットは、短時間のうちに多数の要求を発行する傾向がある一方、Cookie をサポートしない、およびコンテンツで参照されている CSS ファイルやメディアを要求しない傾向があります。

2.1.10 アナリティクスの電子メール配信

電子メールによるアナリティクス レポートの配信を設定するには、コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Analytics/Reports/Reports アイテムの Data セクションの Schedule フィールドを編集します。このフィールドに値が含まれる場合は、root エlement <schedule> のある XML 文書である必要があります。<schedule> エlementの子はそれぞれ、<report> エlementにする必要があります。各 <report> エlementに、1 つの電子メールレポートのプロパティを指定します。

たとえば、次の XML には次のような Schedule フィールドがあります：

```
<schedule>
  <report
    reportitem="/sitecore/system/Settings/Analytics/Reports/Reports/Marketing/Metrics"
    recipients="alias@domain.tld"
    recurrence="everyday"
    title="Metrics"
    days="1"
    format="html" />
  <!-- additional <report> elements -->
</schedule>
```

³ この製品には、MaxMind で作成された GeoLite データが含まれています (<http://www.maxmind.com/>)。MaxMind の詳細については、<http://sdn.sitecore.net/Products/OMS/MaxMind.aspx> を参照してください。

次の表で説明されている <report> エLEMENTの属性は、必須です:

属性	説明
reportitem	レポート定義アイテムのフル パス。
recipients	カンマで区切った電子メール アドレス。
Recurrence	配信の頻度 (everyday、weekdays、Mondays、Tuesdays、Wednesdays、Thursdays、Fridays、Saturdays、Sundays、monthly、biweekly)。複数の値はカンマ (",") で区切る。この値では大文字と小文字は区別されない。
Title	電子メール メッセージのタイトル。
Days	レポートに含めるアナリティクス データの日数。
Format	レポート フォーマット (html、pdf、png、rtf、word2007、excel2007)。

web.config で type Sitecore.Analytics.Tasks.EmailReportsTask を持つ /configuration/sitecore/scheduling/agent ELEMENTが、アナリティクス レポートを電子メールで配信します。このエージェントは 1 時間ごとに実行されますが、1 日に 1 度、深夜 0 時の直後に実行するために /Sitecore/System/Settings/Analytics/Reports/Reports アイテムの Last Run フィールドの値をチェックし、更新します。

メモ

Sitecore は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting ELEMENTの value 属性で name MailServer によって指定される SMTP サーバーを使用します。

メモ

アナリティクス レポートは、Sitecore ユーザー インターフェイスと API を使用して電子メール配信することもできます。

2.2 多変量テスト

アナリティクス エンジンを使用して、多変量テスト (A/B テストとも呼ばれます) を適用することができます。多変量テストを使用すると、各プレゼンテーション コントロールのデータ ソースを動的に設定できます。

2.2.1 多変量テスト定義と多変量テスト変数

多変量テストはそれぞれ、1 つまたは複数の多変量テスト変数を含む多変量テスト定義アイテムで構成されます。それぞれの多変量テスト変数には、システムがその変数を適用するとき、プレゼンテーション コントロールのデータ ソースとして適用するアイテムを指定します。多変量テスト定義アイテムには、システムがどの多変量テスト変数を選択してレンダリングのデータ ソースとして適用するかを決める手段を指定します。レイアウト詳細を使用すると、ユーザーが多変量テストを選択して各プレゼンテーション コントロールを適用できます。

多変量テストの作成方法

多変量テストを作成する方法:

1. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**で `/Sitecore/System/Marketing Center/Test Lab` アイテムを選択します。
2. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の `/Sitecore/System/Marketing Center/Test Lab` アイテムの下で、`System/Analytics/Multivariate Test Variable` データ テンプレートを使用して多変量テスト定義アイテムを挿入します。
3. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト定義アイテムで、**[データ]** セクションの **[Title]** フィールドに多変量テストのタイトルを入力します。このタイトルは Sitecore ユーザー インターフェースに表示されます。
4. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト定義アイテムで、**[データ]** セクションの **[Description]** フィールドに多変量テストの説明を入力します。
5. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト定義アイテムで、**[データ]** セクションの **[Test Strategy]** フィールドからテスト手段を選択します。多変量テストの手段の詳細については、「多変量テスト手段」のセクションを参照してください。

多変量テスト変数の多変量テストへの追加方法

多変量テスト変数を多変量テストに追加する方法:

1. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**で、多変量テスト定義アイテムを選択します。

2. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト定義アイテムの下で、`System/Analytics/Multivariate Test Variable` データ テンプレートを使用して多変量テスト変数定義アイテムを挿入します。
3. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト変数定義アイテムで、**[データ]** セクションの **[Name]** フィールドに多変量テスト変数の名前を入力します。
4. **マーケティング センター**または**コンテンツ エディター**の多変量テスト変数定義アイテムで、**[データ]** セクションの **[Data Source]** フィールドから、テスト手段によってこの多変量テスト変数が選択されたときにプレゼンテーション コントロールのデータソースとして適用されるアイテムを選択します。

多変量テストの実装方法

レイアウト詳細で多変量テストを実装するには、プレゼンテーション コンポーネントのプロパティで、多変量テストを選択します。⁴

2.2.2 多変量テスト手段

Sitecore には 2 つの多変量テスト手段があり、カスタムのテスト手段を実装することもできます。**[Random]** 多変量テスト手段では、多変量テスト変数が毎回ランダムに選択されます。最初に使用するときは、**[Sticky]** 多変量テスト手段でランダムな多変量テスト変数が適用され、その後ユーザーが同じページを再要求した場合には、そのデータソースが維持されます。

多変量テスト手段の実装方法

多変量テスト手段を実装する方法:

1. Visual Studio プロジェクトで、`Sitecore.Analytics.Rules.Conditions.IMultivariateTestStrategy` インターフェースを実装して多変量テスト手段クラスを作成します。
2. このクラスで、`GetTestVariableItem()` メソッドを実装します。`GetTestVariableItem()` メソッドに対する最初のパラメーターは、コンテキスト アイテムです。`GetTestVariableItem()` メソッドに対する 2 番目のパラメーターが、多変量テスト定義アイテムです。多変量テスト定義アイテムの子から適切な多変量テスト変数定義アイテムを返す手段を実装します。たとえば、常に最初の多変量テスト変数を適用する場合は次のようになります:

```
public Sitecore.Data.Items.Item GetTestVariableItem(  
    Sitecore.Data.Items.Item item,
```

⁴ プレゼンテーション コンポーネントのプロパティの詳細については、
<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Reference.aspx> と
<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Cookbook.aspx> を参照してください。

```
Sitecore.Data.Items.Item multiVariateTest)
{
    Sitecore.Diagnostics.Assert.ArgumentNotNull(item, "item");
    Sitecore.Diagnostics.Assert.ArgumentNotNull(multiVariateTest, "multiVariateTest");

    if (!multiVariateTest.HasChildren)
    {
        return null;
    }

    return multiVariateTest.Children[0];
}
```

3. **コンテンツ エディター**で /Sitecore/System/Settings/Analytics/Multivariate Test Strategies アイテムを選択します。
4. **コンテンツ エディター**で、/Sitecore/System/Settings/Analytics/Multivariate Test Strategies アイテムを選択し、System/Analytics/Multivariate Test Strategy データ テンプレートを使用して多変量テスト手段定義アイテムを挿入します。
5. **コンテンツ エディター**の多変量テスト手段定義アイテムで、[**Test Variable Strategy Script**] セクションの [**種類**] フィールドに、多変量テスト手段クラスの .NET タイプのシグネチャーを入力します。
6. 1 つまたは複数の多変量テスト定義で、「多変量テストの作成方法」のセクションで説明されているように、多変量テスト定義アイテムの [**種類**] フィールドから、多変量テスト手段クラスの多変量 s.NET タイプのシグネチャーを選択します。

2.3 アナリティクスのアーキテクチャ

Sitecore アナリティクス エンジンには、各ページ要求にアナリティクス処理ロジックを追加します。

2.3.1 アナリティクス ページ イベント キュー

ページ要求があるたびに、多数のアナリティクス ページ イベントが生成されることがあります。アナリティクス ページ イベントごとに、少なくとも 1 つのデータベース操作が伴います。ページをレンダリングする際のパフォーマンスに影響しないようにするために、Sitecore アナリティクス エンジンはデータベース操作をメモリー内のイベント キューに書き込みます。別のスレッドが適切なデータベース操作を呼び出し、ハードウェア リソースを使用できるようになった時点でイベント キューからエントリを削除します。

イベント キューが、設定可能なエントリ数を超えることはできません。要求によってトリガーされたイベントがキューに収まらない場合、新しいイベントは破棄され、そのイベントのレコードはストアされません。イベント キューで許可されるエントリ数を設定する方法は、「Analytics.MaxQueueSize 設定」のセクションを参照してください。

重要

キュー サイズは、ピーク時の容量が不足するソリューション インフラストラクチャの超過を避けるように、あるいは未確認で負荷のかかる検索エンジンによる被害を抑えるように設定してください。

Chapter 3

Sitecore アナリティクスの設定

この章では、データベース、設定、プロバイダーなど Sitecore アナリティクス エンジンの設定方法を説明します。

この章には次のセクションがあります：

- アナリティクス データベース
- アナリティクス クライアント ロール
- アナリティクスの設定
- アナリティクス プロバイダー
- GeoIP ルックアップ プロバイダー
- サイト定義 enableAnalytics

3.1 アナリティクス データベース

アナリティクス データを格納するデータベースは、`/App_Config/ConnectionStrings.config` の `/connectionStrings/` add エLEMENT の `connectionString` 属性で、`name analytics` によって指定されます。複数の Sitecore インスタンスが同じアナリティクス データベースにアクセスできます。たとえば、ロード バランサーの背後にある複数のコンテンツ デリバリー インスタンスが、別々のコンテンツ管理サーバーによってアクセスされるアナリティクス データベースにデータを投入して、レポートを生成する場合があります。

注意

Sitecore® は、アナリティクスの機能として Microsoft SQL Server をサポートしています。

3.2 アナリティクス クライアント ロール

Sitecore アナリティクス ロールは、Sitecore ユーザー インターフェースにおける OMS 機能面を制御します。⁵

⁵ アナリティクス ロールの詳細については、
<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Client%20Configuration%20Cookbook.aspx> から『クライアント構成クックブック』を参照してください。

3.3 アナリティクスの設定

各設定で利用できる値は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの上にあるコメントで説明されています。

重要

`web.config` に関する重要な注意については、「アナリティクスの機能と概念」のセクションを参照してください。

3.3.1 Analytics.AutoDetectBots 設定

アナリティクス エンジンが検索エンジンなどの Web ロボットを自動的に分類しようとするかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.AutoDetectBots` によって指定されます。自動ロボット検出の詳細については、「自動ロボット検出」のセクションを参照してください。

3.3.2 Analytics.CampaignQueryStringKey 設定

アナリティクス エンジンがキャンペーンをトリガーするときに使用される URL クエリ文字列パラメーターの名前は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.CampaignQueryStringKey` によって指定されます。キャンペーンの詳細については、「キャンペーン」のセクションを参照してください。

3.3.3 Analytics.EmailFromAddress 設定

アナリティクス エンジンで生成されたメッセージの送信者として使用される電子メール アドレスは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.EmailFromAddress` によって指定されます。電子メール配信の詳細については、「アナリティクスの電子メール配信」のセクションを参照してください。

3.3.4 Analytics.Enabled 設定

Sitecore で着信 HTTP 要求に関するアナリティクス情報をストアするかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.Enabled` によって指定されます。アナリティクスを使用しない環境でパフォーマンスの向上を図る場合には、`Analytics.Enabled` を `false` に設定してください。

3.3.5 Analytics.EventQueryStringKey 設定

アナリティクス エンジンがイベントをトリガーするときに使用される URL クエリ文字列パラメーターの名前は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.EventQueryStringKey` によって指定されます。イベントの詳細については、「アナリティクス ページ イベント」のセクションを参照してください。

3.3.6 Analytics.LogLevel 設定

アクティビティをログに記録するかどうかのしきい値は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.LogLevel` によって指定されます。デフォルトでは、アナリティクス エンジンエラーと例外のみをログに記録します。

3.3.7 Analytics.LongRunningRequest 設定

アナリティクス処理を許可する時間 (ミリ秒) は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.LongRunningRequest` によって指定されます。アナリティクス処理がこのしきい値を超えた場合、Sitecore ログとアナリティクス レポートにはエラーとして表示されます。

3.3.8 Analytics.MaxQueueSize 設定

イベント キューの最大サイズは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.MaxQueueSize` によって指定されます。イベント キューについての情報は「アナリティクス ページ イベント キュー」のセクションを参照してください。

注意

アナリティクス ページ イベント キューのサイズが、ASP.NET に使用可能なメモリーを超えることはできません。アナリティクス ページ イベント キューの上限に達した場合でも、キュー サイズが不適切とは限りません。キュー サイズの制限に達した場合には、ハードウェアにおけるピーク ロードの処理が不適切、侵入性の高いロボットなどの原因も考えられます。

3.3.9 Analytics.PerformLookup 設定

インスタンスでリバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップを実行するかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name Analytics.PerformLookup` によって指定されます。ルックアップを実行する必要があるのは、アナリティクス データベースに接続している Sitecore インスタンスのうち 1 つのみです。

重要

MaxMind プロバイダーを含めて GeoIP ルックアップ プロバイダーのほとんどは、GeoIP ルックアップの実行にインターネット アクセスを必要とします。インターネットにアクセスできない環境では、`Analytics.PerformLookup` を `false` に設定してください。

3.3.10 Analytics.PerformLookup.Interval 設定

ルックアップ処理の間隔は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENT の `value` 属性で、`name Analytics.PerformLookup.Interval` によって制御されます。

3.3.11 Analytics.PerformLookup.MachineName 設定

`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENT の `value` 属性で、`name Analytics.PerformLookup.MachineName` が空の文字列ではなく `System.Environment.MachineName` にも一致しない場合には、`Analytics.PerformLookup` が `true` に設定されていても、Sitecore はリバース DNS ルックアップまたは GeoIP ルックアップを実行しません。そのため、サーバー アフィニティ用に構成されていないロード バランサーの背後にあるコンテンツ デリバリー環境でも、すべてのマシンに対して 1 つの設定が可能であり、複数のコンテンツ デリバリー サーバーが冗長なクエリを実行する必要がなくなります。

注意

サーバー アフィニティ用に構成されていないロード バランサー（スティッキー セッションとも呼ばれます）が、別々のコンテンツ デリバリー サーバーに一連の要求を分配する場合、最初の要求でトリガーされるルックアップ処理が 2 番目の要求の処理前に完了しない場合があります。このときは冗長なルックアップがトリガーされます。MaxMind を含む一部の GeoIP ルックアップ プロバイダーは、ルックアップ処理ごとに料金を課金します。サーバー アフィニティ用に構成されていないロード バランシング環境で冗長な GeoIP ルックアップを回避するには、`Analytics.PerformLookup` と `Analytics.PerformLookup.MachineName` を設定し、1 つのコンテンツ デリバリー インスタンスがリバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップを実行するようにしてください。コンテンツ管理インスタンスがインターネットにアクセスできる場合は、コンテンツ管理インスタンスのみがルックアップを実行するように設定します。

3.3.12 Analytics.ReverseDnsLookupTimeout 設定

リバース DNS ルックアップ処理を許可する時間（ミリ秒）は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` ELEMENT の `value` 属性で、`name Analytics.ReverseDnsLookupTimeout` によって指定されます。

3.4 アナリティクス プロバイダー

デフォルトのアナリティクス プロバイダーを更新し、アナリティクス データをデフォルトの Sitecore アナリティクス データベース以外のシステムにストアするには、デフォルトのアナリティクス プロバイダーと同じシグネチャーを持つカスタムのアナリティクス プロバイダー クラスを実装します。次に、web.config の /configuration/sitecore/analyticsManager/providers/add エLEMENTの type 属性で、実装したクラスを参照するように name default を更新するか、<providers> ELEMENTに <add> ELEMENTを追加して一意の name を指定し、カスタム プロバイダーを参照するように type 属性を更新した上で、<analyticsManager> ELEMENTの defaultProvider 属性を name に設定します。

重要

カスタムのアナリティクス プロバイダーは、デフォルトのアナリティクス プロバイダーと同じシグネチャーを持つ必要があります。

3.5 GeoIP ルックアップ プロバイダー

GeoIP ルックアップ プロバイダーは、`web.config` の `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENT の `type` 属性で、`name default` によって指定されます。

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの詳細については、「MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定」のセクションを参照してください。

3.5.1 GeoIP ルックアップ プロバイダーの実装方法

カスタム GeoIP ルックアップ プロバイダーを実装する方法:

1. Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで `Sitecore.Analytics.Lookups.LookupProviderBase` クラスから継承するクラスを作成します。
2. この新しいクラスで、`GetInformationByIp()` メソッドを実装します。
3. `web.config` ファイルの `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENT で、新しいクラスを参照するように `type` 属性を更新します。

3.5.2 MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーを使用するには、このセクションで説明されている設定を構成してから、`web.config` の `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENT の `type` 属性で、`name default` を次の値に設定します:⁶

```
Sitecore.Analytics.Lookups.MaxMindProvider, Sitecore.Analytics
```

OMS には、OMS の機能を最初から利用できるようにテストと実装の便宜上、多数のルックアップが無償で付属していますが、無償のルックアップ パッチは有効期限があり、MaxMind から追加購入が必要です。

MaxMind への登録と、追加ルックアップの購入については、次のページを参照してください:

<http://sdn.sitecore.net/Products/OMS/MaxMind.aspx>

⁶ この製品には、MaxMind で作成された GeoLite データが含まれており、<http://www.maxmind.com/> から使用できます。

重要

MaxMind GeoIP ルックアップ サービスを使用する場合、MaxMind.Url 設定を MaxMind から指定される URL に設定する必要があります。MaxMind.Url 設定の詳細については、「MaxMind.Url 設定」のセクションを参照してください。

MaxMind.Encoding 設定

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーで使用されるページ エンコーディングは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENT の value 属性で、name MaxMind.Encoding によって制御されます。

MaxMind.Format 設定

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーで使用されるフォーマットは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENT の value 属性で、name MaxMind.Format によって制御されます。

MaxMind.SecurityToken 設定

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーで使用されるセキュリティは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENT の value 属性で、name MaxMind.SecurityToken によって制御されます。

MaxMind.Url 設定

MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーで使用される URL は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENT の value 属性で、name MaxMind.Url によって制御されます。

3.6 サイト定義 enableAnalytics 属性

Web サイトごとにアナリティクス データのキャプチャを有効または無効にするには、`web.config` の適切な `/configuration/sitecore/sites/site` エLEMENT の `enableAnalytics` 属性を `true` または `false` に設定します。

ヒント

コンテンツ管理をコンテンツ デリバリーから分離する場合、コンテンツ管理環境でアナリティクスがキャプチャされないように、コンテンツ管理環境のすべての論理サイトで `enableAnalytics` 属性を `false` に設定します。

Chapter 4

Sitecore アナリティクス API

この章では、Sitecore アナリティクス API (Application Programming Interface) について説明します。

この章には次のセクションがあります：

- アナリティクス API の概要

4.1 アナリティクス API の概要

Sitecore アナリティクス API を使用するには、Visual Studio プロジェクトで、/bin フォルダの Sitecore.Analytics.dll アセンブリへの参照を Sitecore ソリューション Web サイトのドキュメント ルート内に追加します。

注意

Visual Studio プロジェクトで、/bin フォルダのプロジェクトにおけるアセンブリへの参照すべての Copy Local プロパティを、False に設定します。参照されるアセンブリの Copy Local プロパティを False に設定しない場合は、Visual Studio で /bin フォルダからアセンブリが削除され、Sitecore でエラーが発生する可能性があります。

4.1.1 Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent

Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent クラスは、アナリティクス ページに関連付けられるイベント、目標、不成功を表します。Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent.Name プロパティは、登録されたイベントのいずれかの名前に一致する必要があります。イベント オブジェクトのその他のプロパティは、アナリティクス レポートに影響します。イベントの詳細については、「アナリティクス ページ イベント」のセクションを参照してください。

4.1.2 Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker

Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker クラスは、アナリティクス コンテキストにアクセスする機能を提供します。現在の要求でアナリティクスを有効にするかどうかは、Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.IsActive プロパティで指定します。

4.1.3 Sitecore.Analytics.AnalyticsPage

Sitecore.Analytics.AnalyticsPage クラスは、セッションでのページを表します。ユーザーのセッションにおける前のページ、現在のページ、次のページにイベントを関連付けることができます。アナリティクス ページの詳細については、「ページ要求の追跡」のセクションを参照してください。

アナリティクス ページのイベント、目標、不成功に関するレポート方法

目標、不成功、汎用のイベントを登録する際には、同じ API を使用します。アナリティクス ページのイベント、目標、不成功の詳細については、「アナリティクス ページ イベント」のセクションを参照してください。

アナリティクス ページのイベント、目標、不成功をレポートする方法:

1. Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.IsActive プロパティをチェックして、アナリティクス エンジンがアクティブであることを確認します:

```
if (!Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.IsActive)
{
    return;
}
```

2. アナリティクス トラッカーと現在のアナリティクス ページにアクセスできることを確認します:

```
Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker analyticsTracker =
    Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.Current;

if (analyticsTracker == null
    || analyticsTracker.CurrentPage == null)
{
    return;
}
```

3. イベントを表す Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent オブジェクトを作成し、Name プロパティをイベント 定義アイテムの名前に設定します:

```
Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent pageEvent =
    new Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent()
{
    Name = "Event Name",
    Key = "Event Key",
    Text = "Event Text",
    Data = "Event Data",
    Integer = 999,
};
```

重要

Sitecore.Analytics.AnalyticsPageEvent.Name プロパティは、登録されたアナリティクス ページ イベントのいずれかの 名前に一致する必要があります。イベントを登録する方法は、「アナリティクス ページ イベントの登録方法」のセクションを参照してください。

4. イベントを Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.TriggerEvent() メソッドに渡します:

```
analyticsTracker.CurrentPage.TriggerEvent(pageEvent);
```

5. イベントをコミットします:

```
analyticsTracker.Submit();
```

4.1.4 Sitecore.Analytics.AnalyticsPage 拡張クラス

Sitecore.Analytics.Extensions.AnalyticsPageExtensions ネームスペースの静的クラスには、Sitecore.Analytics.AnalyticsPage クラスが特定の目標を達成するための拡張メソッドがあります。

検索アクションを前のページに関連付ける方法

従来の Web アナリティクス ソリューションで検索操作を行うと、現在のページ、検索ページ（検索クエリを入力する際に検索ページにアクセスする必要がある場合）、検索結果ページという複数のページ要求のレコードが生成されるのが一般的です。Sitecore アナリティクス エンジンでは、検索結果ページの追跡を取り消し、ユーザーがクエリを発行したページに検索イベントに関連付けることができます。

検索アクションを前のページに関連付けるには、検索結果ページの追跡を取り消します：

```
using Sitecore.Analytics.Extensions.AnalyticsPageExtensions;

if (!Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.IsActive)
{
    return;
}

Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker analyticsTracker =
    Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.Current;

if (analyticsTracker == null
    || analyticsTracker.PreviousPage == null
    || analyticsTracker.CurrentPage == null)
{
    return;
}

analyticsTracker.PreviousPage.Search(
    searchCriteria,
    hits);
analyticsTracker.Cancel();
```

Search() メソッドを呼び出すと、関連付けられた検索イベントが生成されます。パラメーターには、検索条件と結果の数を指定します。

Cancel() メソッドを呼び出すと、現在の（検索結果の）ページ要求が取り消されます。

メモ

Visual Studio 2005 は、拡張メソッドをサポートしていません。Visual Studio 2005 を使用する場合は、拡張メソッドを使用する代わりに、対応する静的メソッドを直接呼び出してください：

```
Sitecore.Analytics.Extensions.AnalyticsPageExtensions.Searches.Search(
    analyticsTracker.PreviousPage,
    searchCriteria,
    hits);
```

4.1.5 VisitorIdentification Web コントロール

VisitorIdentification Web コントロールは、Sitecore アナリティクス エンジンでロボットを識別する際に効果的です。VisitorIdentification Web コントロールでは、空の CSS リソースを参照する HTML の `<link>` エLEMENTが生成されます。Sitecore アナリティクス エンジン、この要求を使用してロボットと実際のユーザーを識別します。自動ロボット検出の詳細については、「自動ロボット検出」のセクションを参照してください。

重要

アナリティクス エンジンがロボットを識別しやすいように、すべてのレイアウトに VisitorIdentification Web コントロールを組み込んでください。次はその例です：

```
<sc:VisitorIdentification runat="server" />
```

4.1.6 Sitecore.Analytics.AnalyticsGlobalSession.Tags

Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.CurrentGlobalSession.Tags コレクションを使用すると、アナリティクス タグにアクセスできます。たとえば現在のユーザーについて、TagName という名前のアナリティクス タグを Tag Value に設定するには、次のようにします：

```
if (!Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.IsActive)
{
    return;
}

Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker analyticsTracker =
    Sitecore.Analytics.AnalyticsTracker.Current;

if (analyticsTracker == null || analyticsTracker.CurrentGlobalSession == null)
{
    return;
}

analyticsTracker.CurrentGlobalSession.Tags["TagName"] = "Tag Value";
```

メモ

タグの更新後にコミットは必要ありません。

メモ

API を使用してアナリティクス タグを削除することはできません。

Chapter 5

アナリティクスのトラブルシューティング

この章では、Sitecore アナリティクス エンジンで起きる問題のトラブルシューティング手順について説明します。

この章には次のセクションがあります：

- OMS のトラブルシューティングの概要

5.1 OMS のトラブルシューティングの概要

次のセクションの情報を使用して、Sitecore アナリティクス エンジンで起きる問題のトラブルシューティングを行います。

5.1.1 Sitecore ログ

トラブルシューティングは常に、Sitecore ログ ファイルを調べることから始まります。ログ ファイルは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で name LogFolder によって指定されるディレクトリにあります。

5.1.2 アナリティクス コントロール パネル

Sitecore デスクトップの **[アナリティクス コントロール パネル]** には、リバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップが成功したか失敗したかに関する情報が示されます。

Sitecore がリバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップを実行できるかどうかを判定する方法：

1. Sitecore デスクトップで **[Sitecore]** ボタンをクリックします。**[Sitecore]** メニューが表示されます。
2. **[Sitecore]** メニューで、**[コントロール パネル]** をクリックします。Sitecore デスクトップに **[コントロール パネル]** が表示されます。
3. Sitecore デスクトップの **[コントロール パネル]** で、**[アナリティクス]** ボタンをクリックします。Sitecore デスクトップに **[アナリティクス コントロール パネル]** が表示されます。
4. **[アナリティクス コントロール パネル]** で **[参照を更新する]** をクリックし、表示されるウィザードの指示に従います。
5. **[アナリティクス コントロール パネル]** で、**[アナリティクス ステータスを取得する]** をクリックします。Sitecore デスクトップに **[アナリティクス ステータス]** レポートが表示されます。
6. アナリティクス ステータス レポートで、**[リクエスト]** の **[前回の成功]** に最新の日時が示されていない、または **[リクエスト]** の **[最後に発生した失敗]** に最新の日時が示されている場合には、システムがイベント キューを超過しています。イベント キューについての情報は「アナリティクス ページ イベント キュー」のセクションを参照してください。
7. アナリティクス ステータス レポートで、**[参照]** の **[前回の成功]** に最新の日時が示されていない、または **[参照]** の **[最後に発生した失敗]** に最新の日時が示されている場合には、GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定をチェックし、システムがインターネットにアクセスできることを確認してください。

リバース DNS ルックアップまたは GeoIP ルックアップの処理がタイムアウトなどでエラーになる場合、リバース DNS ルックアップ プロバイダーから得られる情報はアナリティクス レポートに示されません。GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定をチェックしてシステムがインターネットにアクセスできることを確認し、Sitecore のログで詳細を調べてください。